

授業科目名	エンジン構造	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	75 時間
担当者	村田 慎也	担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務	
対象学科・学年	1級自動車工学科（4年課程）	1年	開講時期	前期	後期
				○	通年
到達目標	自動車整備士に必要な知識として、エンジンの構造・作動及び整備について理解する。				
授業形態	○ 講義	実習	△ 演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容			備考
	1～15	エンジン本体（概要，構造・機能，整備），演習			
	16～25	潤滑装置（概要，構造・機能，整備），演習			
	26～35	冷却装置（概要，構造・機能，整備），演習			
	36～49	燃料装置（概要，構造・機能，整備），演習			
	50～60	吸排気装置（概要，構造・機能，整備），演習			
	61～69	電子制御装置（概要，構造・機能，整備），演習			
	70～75	エンジンの点検・整備（概要，点検・整備），演習			
	評価方法	日常の授業態度，課題の提出状況，確認テスト，期末試験等を総合的に判断して行う。			
教科書・参考図書	三級自動車整備士 総合（日本自動車整備振興会連合会）				
関連科目					
連絡事項	定期試験として，各期末に試験を実施（計2回）する。 試験時間は50分とする。（計算機の持込可） 試験範囲や配布資料等については，随時連絡する。				

授業科目名	シャシ構造 I		必修/選択	必修	授業時間数(50分)	60 時間
担当者	盛重 幸一		担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務	
対象学科・学年	1級自動車工学科 (4年課程)	1年	開講時期	前期	後期	○ 通年
到達目標	自動車整備士に必要な知識として、シャシの構造・作動及び整備について理解する。					
授業形態	○ 講義	実習	△ 演習	※ 主たる方法：○ その他：△		
授業計画	回数	授業内容				備考
	1～10	自動車の運動性能（走る、曲がる、止まる）の原理				
	11～25	動力伝達装置，（概要，構造・機能，整備），演習				
	26～40	動力伝達装置，二輪車（概要，構造・機能，整備），演習				
	41～50	ステアリング装置（概要，構造・機能，整備），演習				
	51～60	ステアリング装置，二輪車（概要，構造・機能，整備），演習				
評価方法	日常の授業態度，出席率，課題の提出状況，期末試験等を総合的に判断して行う。					
教科書・参考図書	三級自動車整備士 総合（日本自動車整備振興会連合会）					
関連科目						
連絡事項	定期試験として，各期末に試験を実施（計2回）する。 試験時間は50分とする。（計算機の持込可） 試験範囲や配布資料等については，随時連絡する。					

授業科目名	シャシ構造 II	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	60 時間
担当者	吉井 朗剛	担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務	
対象学科・学年	1級自動車工学科 (4年課程) 1年	開講時期	前期	後期	○ 通年
到達目標	自動車整備士に必要な知識として、シャシの構造・作動及び整備について理解する。				
授業形態	○ 講義	実習	△ 演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容			備考
	1～10	ホイール及びタイヤ (概要, 構造・機能, 整備), 演習			
	11～25	ホイール・アライメント (概要, 構造・機能, 整備), 演習			
	26～40	ブレーキ装置 (概要, 構造・機能, 整備), 演習			
	41～50	フレーム及びボディ (概要, 構造・機能, 整備), 演習			
	51～60	シャシの点検・整備 (概要, 構造・機能, 整備), 演習			
評価方法	日常の授業態度, 出席率, 課題の提出状況, 期末試験等を総合的に判断して行う。				
教科書・参考図書	三級自動車整備士 総合 (日本自動車整備振興会連合会)				
関連科目					
連絡事項	定期試験として, 各期末に試験を実施 (計2回) する。 試験時間は50分とする。 (計算機の持込可) 試験範囲や配布資料等については, 随時連絡する。				

授業科目名	電気	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	45 時間
担当者	秋葉 清文	担当者実務経験		専門学校教員として勤務	
対象学科・学年	1級自動車工学科 (4年課程) 1年	開講時期	前期	後期	○ 通年
到達目標	1.基本的な電気回路, 電気・電子の知識についてを理解する。 2.自動車の電気装置の基本的な構造・作動及び整備について理解する。				
授業形態	○ 講義	実習	△ 演習	※ 主たる方法: ○ その他: △	
授業計画	回数	授業内容			備考
	1~5	基礎的な原理・法則 (電気と磁気), 演習			
	6~9	半導体 (概要), 演習			
	10~13	バッテリー (概要, 構造・機能, 整備), 演習			
	14~16	始動装置 (概要, 構造・機能, 整備), 演習			
	17~22	充電装置 (概要, 構造・機能, 整備), 演習			
	23~27	点火装置 (概要, 構造・機能, 整備), 演習			
	28~30	灯火装置 (概要, 構造・機能), 演習			
	31~32	計器 (概要, 構造・機能, 整備), 演習			
	33~34	ホーン, ウインドシールド・ワイパ (概要, 構造・機能, 整備), 演習			
	35~40	冷暖房装置 (概要, 構造・機能, 整備), 演習			
	41~42	電気の配線 (概要), 演習			
	43~45	サーキットテスタの活用, 演習			
評価方法	日常の授業態度, 課題の提出状況, 確認テスト, 期末試験等を総合的に判断して行う。				
教科書・参考図書	三級自動車整備士 総合 (日本自動車整備振興会連合会) 基礎自動車整備作業 (日本自動車整備振興会連合会)				
関連科目					
連絡事項	定期試験として, 各期末に試験を実施 (計2回) する。 試験時間は50分とする。 (計算機の持込可) 試験範囲や配布資料等については, 随時連絡する。				

授業科目名	基礎工学	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	60 時間
担当者	盛重 幸一	担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務	
対象学科・学年	1級自動車工学科 (4年課程)	1年	開講時期	前期	後期 ○ 通年
到達目標	1.自動車の概要, 構造, 機械要素, 基礎的な原理・法則, 自動車の諸元について習得する。 2.基礎的な原理・法則及び自動車の諸元の項目にて自動車整備士として必要な計算を習得する。 3.二級自動車整備士として必要な機器についての一般知識について習得する。				
授業形態	○ 講義	実習	△ 演習	※ 主たる方法: ○ その他: △	
授業計画	回数	授業内容			備考
	1~8	自動車の概要, 演習			
	9~20	自動車の機械要素, 演習			
	21~30	基礎的な原理・法則, 演習			
	31~60	作業機器			
評価方法	日常の授業態度, 課題の提出状況, 確認テスト, 期末試験等を総合的に判断して行う。				
教科書・参考図書	三級自動車整備士 総合 (日本自動車整備振興会連合会) 基礎自動車整備作業 (日本自動車整備振興会連合会)				
関連科目					
連絡事項	定期試験として, 各期末に試験を実施 (計2回) する。 試験時間は50分とする。 (計算機の持込可) 試験範囲や配布資料等については, 随時連絡する。				

授業科目名	整備作業 I	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	630 時間
担当者	盛重 幸一 吉井 朗剛	担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務 自動車販売店の整備士として勤務	
対象学科・学年	1級自動車工学科(4年課程) 1年	開講時期		前期	後期
到達目標	1.エンジン、シャシ、電装品の単体を分解することで構造・機能について理解する。 2.エンジン、シャシ、電装品の制御の内容を理解し故障箇所の原因探究ができる。 3.接客応対をできるようになる。				
授業形態	△ 講義	○ 実習	演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容			備考
	1~42	工作作業			
	43~84	測定作業			
	85~126	エンジン単体の分解・構造理解・組み付け			
	127~168	スタータ単体の分解・構造理解・組み付け			
	169~210	オルタネータ単体の分解・構造理解・組み付け			
	211~252	ステアリング装置単体の分解・構造理解・組み付け			
	253~294	ブレーキ装置単体の分解・構造理解・組み付け			
	295~336	電気の基礎			
	337~378	プロペラシャフト・ドライブシャフト分解・構造理解・組み付け			
	379~420	1灯式のヘッドランプの理解			
	421~462	ドア内装の分解・構造理解・組み付け			
	463~504	日常点検			
	505~555	点火装置			
	556~590	エンジン3要素			
	591~630	灯火パネル			
評価方法	日常の授業態度，出席率，課題の提出状況，期末試験等を総合的に判断して行う。				
教科書・参考図書	三級自動車整備士 総合（日本自動車整備振興会連合会） 基礎自動車整備作業（日本自動車整備振興会連合会）				
関連科目	エンジン構造，シャシ構造，電気				
連絡事項	定期試験として，各期末に試験を実施（計2回）する。 試験時間は50分とする。（計算機の持込可） 試験範囲や配布資料等については，随時連絡する。				